



## 2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月10日

上場会社名 帝国通信工業株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 6763 URL <https://www.noble-j.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 羽生 満寿夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 (氏名) 丸山 睦雄 (TEL) 044-422-3831  
 四半期報告書提出予定日 2023年11月13日 配当支払開始予定日 2023年12月4日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	7,830	△0.5	664	△4.9	1,182	△11.6	909	△2.6
2023年3月期第2四半期	7,868	4.9	698	△26.4	1,337	27.6	934	17.2

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 1,838百万円(△9.4%) 2023年3月期第2四半期 2,028百万円(87.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2024年3月期第2四半期	円 銭 93.16	円 銭 —
2023年3月期第2四半期	95.44	95.43

(注) 2024年3月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2024年3月期第2四半期	百万円 31,810	百万円 26,922	% 82.8
2023年3月期	30,306	25,697	82.9

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 26,336百万円 2023年3月期 25,129百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	30.00	—	30.00	60.00
2024年3月期	—	35.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,500	0.0	1,500	△6.4	1,700	△22.4	1,200	△13.4	122.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	9,856,107株	2023年3月期	10,141,833株
2024年3月期2Q	185,300株	2023年3月期	352,468株
2024年3月期2Q	9,763,392株	2023年3月期2Q	9,789,821株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

(注) 当社は「株式給付信託(BBT)」を導入しており、株主資本において自己株式として計上されている「株式給付信託(BBT)」に残存する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めています。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 将来に関する記述等についてのご注意

上記の業績予想は現在入手可能な情報及び合理的に判断した予想であり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、予想に関する事項は、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 四半期決算説明会

当社は2023年12月1日(金)に機関投資家及びアナリスト向けの四半期決算説明会を開催する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
3. 補足情報	11
製品別販売実績	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の世界経済は、各国における金融引き締めを目的とした政策金利の高止まりによる景気の後退懸念や、ウクライナ侵攻の長期化による資源・エネルギー価格高騰に加え、食品等の消費財の物価上昇も継続しております。さらに中国における不動産市場の低迷や輸出の落ち込み等から景気後退懸念もあり、依然として先行きが不透明な状況となっております。我が国の経済は、各国との金融政策の乖離による円安の継続から、物価上昇や供給制約のリスクに加え、労働賃金上昇圧力が強まっており、楽観視できない状況が継続しております。

当社グループの属するエレクトロニクス業界では、各市場における半導体や原材料調達難による生産調整は解消してきております。自動車電装市場においては予想を上回って回復してきておりますが、生活家電市場ではコロナ特需の反動から住宅設備機器、エアコン等の在庫調整が顕著化しており、また中国における景気減速により受注が悪化しております。産業機器市場でも半導体製造装置の生産減速や在庫調整の長期化から事業環境は厳しい状況が継続しております。

このような状況の中で当社グループは、2021年5月に策定した中期5ヵ年計画の第2ステップにあたる今期は、その目標達成に向けて、自動車電装分野、医療・ヘルスケア分野や産業機器分野への拡販を推し進め、既存領域の拡大を図っております。また、非接触センサー開発等により、顧客ニーズを捉えた新製品の展開を行ってまいりました。加えて、次期中期経営計画の課題となる新領域の確立の取組を進めており、特に医療・ヘルスケア分野では更なる技術革新により新分野への進出を目指しております。製造部門においては工場のDX化に向けた設備投資を進め、独自のI.o.T機能を持たせた製造ラインの導入・拡大や、省人化、無人化等生産性向上とコストダウンを継続的に行い、競争力強化を図るとともに生産の最適化や環境問題・BCPの観点から生産地の見直しや、医療・ヘルスケア分野の新技术等に対し、インフラ投資や設備投資等も検討してまいります。

売上面では円安の効果もありましたが、一部顧客の在庫過多による生産調整等、マイナス要因がありました。また利益面では資源・エネルギー価格の高止まりや、固定費の上昇により厳しい状況であったことに加え、顧客の在庫調整の影響による受注数減少の結果、生産稼働率が低下しましたが、積極的に省人化、無人化等の生産性向上によるコストダウンに努めてまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は78億30百万円（前年同期比0.5%減）となりました。営業利益は6億64百万円（前年同期比4.9%減）、経常利益は11億82百万円（前年同期比11.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は9億9百万円（前年同期比2.6%減）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ①電子部品

半導体や原材料調達難による生産調整は解消してきており、自動車電装向けは、予想を上回る回復をしており、順調に推移しました。アミューズメント市場向けも好調でした。一方、生活家電向け、産業機器向け等は顧客の在庫調整の影響を受け低調に推移しました。加えて、医療・ヘルスケア市場向けは、顧客の生産計画変更の影響を受け受注が低調でした。

この結果、電子部品の売上高は75億11百万円（前年同期比1.6%減）となり、営業利益は6億41百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

当事業の地域別の業績は次のとおりであります。

#### a. 日本

自動車電装向けやアミューズメント市場向けは、好調に推移しており、特に自動車電装向けは、予想を上回る回復をしており順調に推移しました。一方、医療・ヘルスケア機器向けは、一部の顧客において受注が大幅に減少した結果、対前年同期を下回る結果となりました。生活家電向け、産業機器向け等は顧客の在庫調整の影響を受け低調でした。

この結果、売上高は35億74百万円（前年同期比7.1%減）、営業利益は1億33百万円（前年同期比30.1%減）となりました。

#### b. アジア

中国では、不動産市場の低迷により景気の回復が不鮮明となっており、エアコンや給湯器等の生活家電向けにおいて低調に推移しました。その他アジア地域においては、AV機器向けは低調ながらも徐々に回復しており、アジ

ア全体では、為替の効果もあり堅調に推移しました。

この結果、売上高は38億35百万円（前年同期比5.4%増）、営業利益は4億79百万円（前年同期比9.0%増）となりました。

c. 北米

景気後退のリスクは緩和されつつも金融政策の引き締めの維持等、依然として景気に影響を及ぼしており、プロ用オーディオ向けや産業機器向けの製品等が顧客の在庫調整の影響を受け低調に推移しました。

この結果、売上高は1億2百万円（前年同期比31.2%減）、営業損失は10百万円（前年同期は12百万円の営業利益）となりました。

②その他

環境対応緩衝材は、半導体関連市場向けや医療機向けに順調に推移しました。機械設備の製造販売は計画を上回っており、この結果、売上高は3億18百万円（前年同期比36.7%増）、営業利益は44百万円（前年同期比22.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、総資産が前連結会計年度末に比べ15億4百万円増加し318億10百万円となりました。その内訳は、流動資産が10億34百万円増加し201億8百万円、固定資産が4億69百万円増加し117億2百万円となりました。

負債は前連結会計年度末に比べ2億79百万円増加し48億88百万円となりました。その内訳は、流動負債が80百万円増加し27億43百万円、固定負債が1億98百万円増加し21億45百万円となりました。

これらの結果、純資産は前連結会計年度末に比べ12億25百万円増加し269億22百万円となり、自己資本比率は前連結会計年度末の82.9%から82.8%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は前連結会計年度末に比べ8億3百万円増加（前年同期は1億45百万円の減少）し、当第2四半期連結会計期間末に89億15百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は15億24百万円（前年同期は3億93百万円の獲得）となりました。これは、税金等調整前四半期純利益12億91百万円（前年同期は13億37百万円）、減価償却費が3億76百万円（前年同期は4億5百万円）、棚卸資産が3億40百万円減少（前年同期は4億76百万円増加）したこと等によります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は3億93百万円（前年同期は5億30百万円の使用）となりました。これは、有形固定資産の取得に2億23百万円（前年同期は4億58百万円）、投資有価証券の償還により2億0百万円獲得したこと等によります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は6億16百万円（前年同期は4億13百万円の使用）となりました。これは配当金の支払い2億98百万円（前年同期は3億44百万円）、自己株式の取得2億19百万円（前年同期は0百万円）等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の世界経済予測は、生活家電市場や産業機器市場等における在庫調整の終息が見えておらず、為替変動や中国の景気減速等、不確定要素がありますが、通期業績予想は、2023年5月12日に公表しました見通しに変更はございません。また、配当予想についても変更はございません。なお、今後、市場の動向等各種情報の収集に努め、業績予想に変更が生じた場合は速やかに公表いたします。

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,400,128	11,705,185
受取手形及び売掛金	3,788,719	3,981,343
電子記録債権	728,743	560,718
有価証券	171,743	—
商品及び製品	1,708,449	1,630,672
仕掛品	795,343	732,277
原材料及び貯蔵品	1,058,348	955,933
その他	427,558	548,094
貸倒引当金	△4,493	△5,349
流動資産合計	19,074,540	20,108,876
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,932,128	1,936,604
機械装置及び運搬具（純額）	1,308,225	1,449,057
その他（純額）	1,184,476	990,531
有形固定資産合計	4,424,830	4,376,193
無形固定資産		
投資その他の資産	35,971	38,428
投資有価証券	2,982,252	3,508,039
退職給付に係る資産	3,269,527	3,266,315
その他	522,846	516,258
貸倒引当金	△3,216	△3,216
投資その他の資産合計	6,771,410	7,287,396
固定資産合計	11,232,212	11,702,018
資産合計	30,306,752	31,810,895
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	634,270	698,903
電子記録債務	456,206	513,149
短期借入金	41,776	43,169
未払法人税等	230,877	243,609
賞与引当金	384,706	408,396
役員賞与引当金	27,000	—
その他	887,516	835,883
流動負債合計	2,662,353	2,743,111
固定負債		
役員株式給付引当金	87,504	102,606
退職給付に係る負債	148,373	161,604
その他	1,711,058	1,881,095
固定負債合計	1,946,935	2,145,307
負債合計	4,609,289	4,888,419

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	3,453,078	3,453,078
資本剰余金	5,456,313	5,456,313
利益剰余金	14,184,134	14,136,263
自己株式	△791,414	△348,841
株主資本合計	22,302,112	22,696,814
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,558,797	1,861,989
為替換算調整勘定	867,864	1,436,204
退職給付に係る調整累計額	400,837	341,666
その他の包括利益累計額合計	2,827,499	3,639,859
新株予約権	654	—
非支配株主持分	567,196	585,801
純資産合計	25,697,462	26,922,476
負債純資産合計	30,306,752	31,810,895

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	7,868,394	7,830,120
売上原価	5,383,175	5,298,470
売上総利益	2,485,218	2,531,649
販売費及び一般管理費	1,786,835	1,867,285
営業利益	698,383	664,364
営業外収益		
受取利息	19,291	45,135
受取配当金	74,492	95,733
受取賃貸料	33,576	33,338
為替差益	497,478	343,375
その他	39,021	26,176
営業外収益合計	663,860	543,759
営業外費用		
支払利息	2,116	1,927
固定資産賃貸費用	15,264	13,429
その他	7,107	10,570
営業外費用合計	24,487	25,927
経常利益	1,337,755	1,182,196
特別利益		
投資有価証券償還益	—	109,187
特別利益合計	—	109,187
税金等調整前四半期純利益	1,337,755	1,291,384
法人税等	326,493	293,176
四半期純利益	1,011,261	998,207
非支配株主に帰属する四半期純利益	76,947	88,631
親会社株主に帰属する四半期純利益	934,313	909,576



四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	1,011,261	998,207
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	135,832	300,878
為替換算調整勘定	965,257	599,207
退職給付に係る調整額	△83,838	△59,512
その他の包括利益合計	1,017,251	840,573
四半期包括利益	2,028,513	1,838,781
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,922,580	1,721,936
非支配株主に係る四半期包括利益	105,932	116,844

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	1,337,755	1,291,384
減価償却費	405,256	376,467
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△115,222	△81,363
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	13,394	4,678
賞与引当金の増減額 (△は減少)	43,547	18,615
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△24,750	△27,000
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	15,862	15,102
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△1,930	673
固定資産売却損益 (△は益)	4	1,393
投資有価証券償還損益 (△は益)	—	△109,187
受取利息及び受取配当金	△93,783	△140,868
支払利息	2,116	1,927
売上債権の増減額 (△は増加)	△391,655	105,909
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△476,456	340,166
仕入債務の増減額 (△は減少)	△10,374	111,013
未払消費税等の増減額 (△は減少)	58,371	155,628
その他	△223,154	△532,635
小計	538,981	1,531,905
利息及び配当金の受取額	94,851	138,399
利息の支払額	△2,116	△1,927
法人税等の還付額	—	56,196
法人税等の支払額	△238,097	△199,787
営業活動によるキャッシュ・フロー	393,618	1,524,786
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の増減額 (△は増加)	△59,433	△357,795
有形固定資産の取得による支出	△458,179	△223,174
有形固定資産の売却による収入	57	3
無形固定資産の取得による支出	△4,992	△8,851
投資有価証券の取得による支出	△1,043	△884
投資有価証券の償還による収入	—	200,050
貸付けによる支出	△1,353	—
貸付金の回収による収入	443	479
その他	△6,256	△3,096
投資活動によるキャッシュ・フロー	△530,757	△393,270
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	—	1,393
短期借入金の返済による支出	△4,052	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△12,958	△24,389
自己株式の取得による支出	△166	△219,168
自己株式の売却による収入	115	—
配当金の支払額	△344,646	△298,597
非支配株主への配当金の支払額	△52,135	△75,307
財務活動によるキャッシュ・フロー	△413,844	△616,069
現金及び現金同等物に係る換算差額	405,168	287,668
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△145,815	803,115
現金及び現金同等物の期首残高	7,510,033	8,112,471
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,364,217	8,915,587

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年8月8日開催の取締役会決議に基づき、自己株式117,800株の取得を行い、当第2四半期連結累計期間において、自己株式が217,969千円増加しました。また、2023年8月8日開催の取締役会決議に基づき、2023年8月31日付で、自己株式285,726株の消却を行った結果、当第2四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ661,741千円減少しました。

なお、当第2四半期連結会計期間末において利益剰余金が14,136,263千円、自己株式が348,841千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注)3
	電子部品 (千円) (注)1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	7,635,550	232,843	7,868,394	—	7,868,394
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,411	358,106	362,517	△362,517	—
計	7,639,961	590,949	8,230,911	△362,517	7,868,394
セグメント利益	655,716	36,065	691,781	6,601	698,383

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	3,847,794	3,639,251	148,505	7,635,550	—	7,635,550
地域間の内部売上高 又は振替高	2,722,691	2,147,062	—	4,869,753	△4,865,342	4,411
計	6,570,485	5,786,313	148,505	12,505,303	△4,865,342	7,639,961
地域別利益	190,807	439,831	12,618	643,256	12,459	655,716

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント			調整額 (千円) (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (千円) (注) 3
	電子部品 (千円) (注) 1	その他 (千円)	計 (千円)		
売上高					
外部顧客への売上高	7,511,870	318,249	7,830,120	—	7,830,120
セグメント間の内部売上高 又は振替高	1,900	54,531	56,432	△56,432	—
計	7,513,771	372,780	7,886,552	△56,432	7,830,120
セグメント利益	641,621	44,123	685,745	△21,381	664,364

(注) 1. 電子部品の地域別の内訳は下記のとおりであります。

	日本 (千円)	アジア (千円)	北米 (千円)	計 (千円)	調整額 (千円)	電子部品合計 (千円)
売上高						
外部顧客への売上高	3,574,292	3,835,428	102,150	7,511,870	—	7,511,870
地域間の内部売上高 又は振替高	2,957,120	2,103,258	—	5,060,379	△5,058,478	1,900
計	6,531,412	5,938,686	102,150	12,572,250	△5,058,478	7,513,771
地域別利益又は損失(△)	133,391	479,605	△10,205	602,790	38,830	641,621

2. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整をおこなっております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 補足情報

製品別販売実績

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)		前年同四半期比 (%)
	金額	構成比	金額	構成比	
電子部品		%		%	
前面操作ブロック (千円)	1,941,468	24.7	1,977,976	25.3	101.9
可変抵抗器 (千円)	1,219,077	15.5	958,052	12.2	78.6
固定抵抗器 (千円)	1,164,318	14.8	787,619	10.0	67.6
センサー (千円)	1,851,350	23.5	2,306,906	29.5	124.6
機構部品 (千円)	1,067,302	13.5	985,548	12.6	92.3
その他の電子部品 (千円)	392,032	5.0	495,766	6.3	126.5
小計 (千円)	7,635,550	97.0	7,511,870	95.9	98.4
その他					
その他 (千円)	232,843	3.0	318,249	4.1	136.7
小計 (千円)	232,843	3.0	318,249	4.1	136.7
合計 (千円)	7,868,394	100.0	7,830,120	100.0	99.5